

山梨県介護・医療連携ツール実践モデル事業の概要

1 目的

本年度作成する医療・介護の連携に関する指針を、より現場に即した内容とするため、指針に盛り込む連携ツール等について、複数のモデル市町村において実施検証し指針に反映する。

2 実施主体 山梨県

3 実施時期 平成25年7月～平成26年3月 (連携ツールの検証は10月～12月に実施)

4 事業内容

(1) 県の役割

①モデル市町村の指定 (南アルプス市、大月市)

②連携方法 (連携ツール等) 案の提示

③検証すべきモデル市町村における連絡会議の開催

モデル市町村外のモニター機関として、特定の急性期病院や大学病院、地域モデル市町村外のモニター機関として、特定の急性期病院や大学病院、地域リハビリテーション広域支援センター等、関係者への周知

④アンケートの実施

(2) モデル市町村の役割

①県と連携し連携方法の試行と検証を実施

②モデル事業をとおり、モデル市町村が抱えている医療と介護の連携に対する課題を整理し、次年度以降に繋げる仕組みを検討

5 連絡会議の開催状況

◇南アルプス市

○構成員 (10名)

医師 (3名)、歯科医師 (1名)、薬剤師 (1名)、看護師 (2名)、主任ケアマネジャー (1名)、県保健福祉事務所 (2名)

※南アルプス市には市 (地域包括支援センター) が実施している在宅医療関係連携会議があり、同会議のメンバーを主として構成員とした。

○会議の開催 (3回開催、開催場所：南アルプス市役所会議室)

<第1回目>

開催日時 7月29日 (月) 午後7時30分～9時

議 題 (1) 介護・医療連携ツール実践モデル事業について
(2) その他

<第2回目>

開催日時 9月30日(月)午後7時～8時30分
議 題 (1) 連携方法について
(2) その他

<第3回目>

開催日 2月 3日(月)午後7時15分～9時
議 題 (1) アンケート調査結果
(2) その他

◇大月市

○構成員(11名)

医師(4名)、看護師(2名)、歯科医師(1名)、薬剤師(1名)、
主任ケアマネジャー(1名)、大月市地域包括支援センター(2名)

※その他、オブザーバーとして2名の医師(都留市、上野原市)が参加

※近隣市(地域包括支援センター)の職員(都留市、上野原市)が参加

※大月市は、今回のモデル事業で初めて医療・介護関係者を構成員とする
医療介護連携に係る会議を開催

○会議の開催(3回開催、開催場所:大月市役所会議室)

<第1回目>

開催日時 8月20日(火)午後7時～8時30分
議 題 (1) 介護・医療連携ツール実践モデル事業について
(2) 連携方法について
(3) その他

<第2回目>

開催日時 9月27日(金)午後7時～8時30分
議 題 (1) 介護・医療連携ツール実践モデル事業経過報告
(2) モデル事業の検証方法(アンケート調査)について
(3) その他

<第3回目>

開催日 2月 4日(金)午後7時～8時30分
議 題 (1) アンケート調査結果
(2) 意見交換
(3) その他

6 モデル事業で検証した連携ツール

「私の暮らしのシート」(様式1)、「山梨県介護・医療連携シート」(様式2)

「山梨県介護・医療連絡シート」(様式3)、「私の暮らしの手帳」

7 アンケート調査の概要

(1) 調査期間 平成25年12月1日～12月31日

(2) 調査対象 228

南アルプス市内142、大月市内80、市外(病院)6

- ◇診療所(病院・有床診療所を除く)、歯科医院 85
(南アルプス市55、大月市内30)
- ◇病院・有床診療所 9 (南アルプス市7、大月市内2)
- ◇介護支援専門員 128 (南アルプス市80、大月市内48)
- ◇県中・地域リハ病院 6

(3) 回答数 160(回収率70.2%)

南アルプス市内93、大月市内63、市外(病院)4

- ◇診療所(病院・有床診療所を除く)、歯科医院 40
(南アルプス市22、大月市内18)
- ◇病院・有床診療所 8 (南アルプス市6、大月市内2)
- ◇介護支援専門員 108 (南アルプス市65、大月市内43)
- ◇県中・地域リハ病院 4

※「私の暮らしのシート」は南アルプス市148名、大月市112名
計260名の方から回答をいただいた。

※病院・有床診療所は南アルプス市12名、大月市5名、県中・地域リ
ハ病院は12名の計29名の職員から回答をいただいた。

8 アンケート調査結果報告

南アルプス市、大月市の調査協力関係機関等に調査結果を配布

※調査結果は別添のとおり

<回答：本人>

私の暮らしのシート（様式1）、手帳について

質問1 私の暮らしのシート（様式1）の記入は、どなたが行いましたか。

（単位：人）

	本人が大半 を記入	家族が大半 を記入	担当するケア マネジャーが 大半を記入	無回答	計
南アルプス市	27(18.2)	71(48.0)	47(31.8)	3(2.0)	148
大月市	24(21.4)	62(55.4)	24(21.4)	2(1.8)	112
計	51(19.6)	133(51.2)	71(27.3)	5(1.9)	260

「具体的に記載した理由」の主な内容

（「本人が大半を記入」と回答した者）

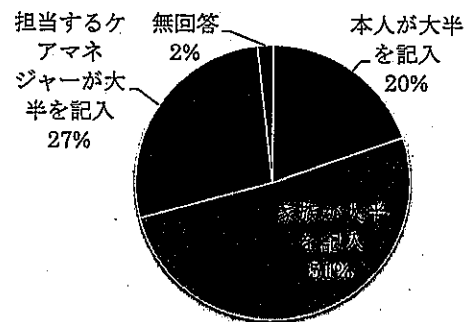
- ・本人が記入出来たので。
- ・自分で考えて書くことができるから。
- ・身のまわりのことは、自分で処理できる為。
- ・文字を書くことが得意 など

（「家族が大半を記入」と回答した者）

- ・目が悪いため、手に力が入らず、上手く字が書けないため。
- ・手先がふるえ等がひどくて文字が書けない。本人が手に力が入らないため。
- ・本人が読み書きが苦手。
- ・本人は上手に字を書けない、内容の理解が乏しい。
- ・体調が少し悪いため。
- ・長時間座っている事、字を書くなど細かい作業が困難な為。
- ・本人高齢と認知のため。
- ・本人が内容を理解できない。
- ・字が書けない など

（「担当するケアマネジャーが大半を記入」と回答した者）

- ・家族は忙しく、記入項目も多くて、説明されても良くわからない。
- ・体力的にきつく、物を書くだけでもつかれてしまう。
- ・記入する欄が多くて大変そうだったから。
- ・記載内容の意味が理解不十分なので、代行記入しました など。

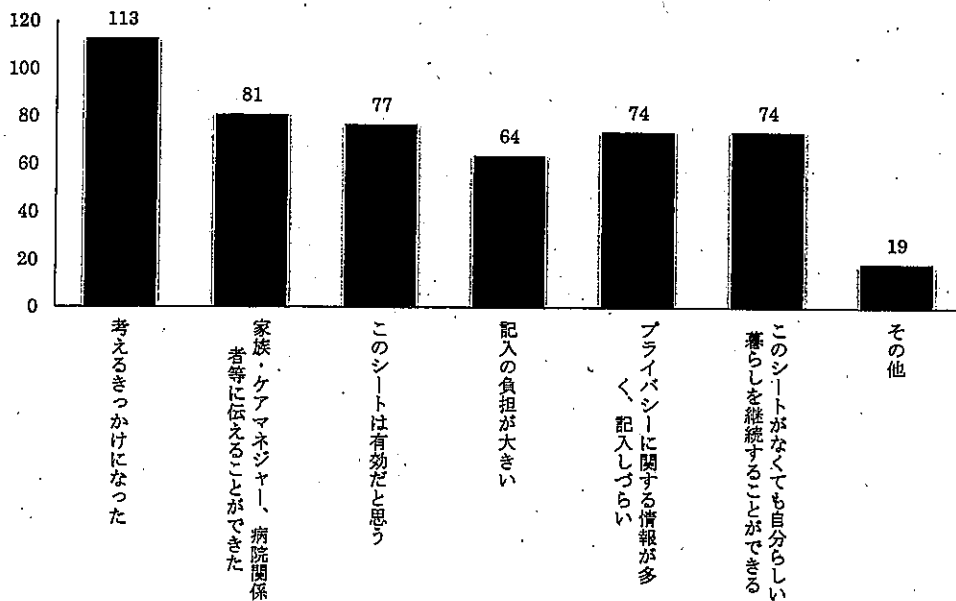


質問2 シートの内容について感想を教えてください（複数回答 可）

（単位：人）

	考えるきっかけにな った	家族・ケアマネ ジャー、病院関 係者等に伝える ことができた	このシート は有効だと思 う	記入の負 担が大きい	プライバシーに 関する情報が多 く、記入しづらい	このシートがなく ても自分らしい 暮らしを継続す ることができる	その他	計
南アルプス市	64(43.2)	46(31.1)	44(29.7)	29(19.6)	43(29.1)	43(29.1)	15(10.1)	284
大月市	49(43.8)	35(31.3)	33(29.5)	35(31.3)	31(27.7)	31(27.7)	4(3.6)	218
計	113(43.5)	81(31.2)	77(29.6)	64(24.6)	74(28.5)	74(28.5)	19(7.3)	502

※（ ）内の構成割合は回答者数（南アルプス市148人、大月市112人、計260人）に対するもの



「具体的に記載した」の主な内容

- ・家族も改めて本人の思いを考えることができた。
今後のこともまた考えることができた。
- ・母の思いがよくわかった。
- ・息子さんにも今回がきっかけとなり話すことができる。
- ・家族だけでは聞けない部分をこのシートのきっかけで聞くことができた。
- ・皆さんに支えられている事をあらためて感じた。
- ・この程度の内容では本人を理解してもらえないと思う。これだけでわかるのかと思う。もっと内容は多くないと。
- ・これまで生きてきた時が主体的に生きるような時代ではなかったので、自分らしさを考えることに慣れていない
- ・家の者が「こうなの？こう思う？どう？」など質問した事にうなずくのに対し私の判断で記入しました。
- ・本人が書くわけではないので、本当のことがわかりにくい。かえってケアマネさんが書いた方がいいかもしれない。
- ・文字で表現できるほど決められないことがある など。

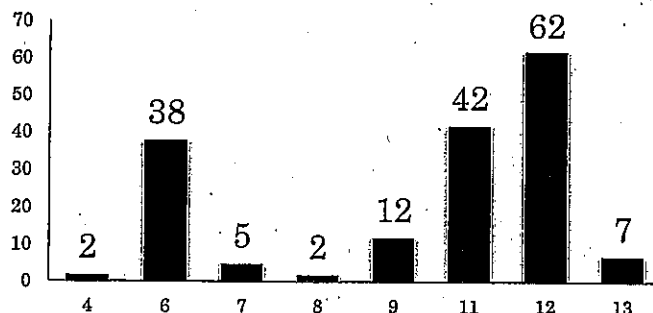
質問3 シートの中で、書きにくかった箇所や必要のないと思う箇所はありましたか。(複数回答)

(単位:人)

項目番号	4	6	7	8	9	11	12	13	計
南アルプス市	1(1.25)	22(27.5)	2(2.5)	1(1.25)	4(5.0)	16(20.0)	30(37.5)	4(5.0)	80
大月市	1(1.1)	16(17.8)	3(3.3)	1(1.1)	8(8.9)	26(28.9)	32(35.6)	3(3.3)	90
計	2(1.2)	38(22.3)	5(2.9)	2(1.2)	12(7.1)	42(24.7)	62(36.5)	7(4.1)	170

※項目の内容・・・ 4「住所」 6「要介護認定」 7「経済状況」 8「本人の療養情報」
9「本人の暮らしの情報」 11「本人の暮らし方(自分らしさ)の情報」
12「本人の気持ちの確認」
13「1日の過ごし方と暮らしを支えるサービス及び主な担当者」

※()内の構成割合は回答者数(南アルプス市148人、大月市112人、計260人)に対するもの。



「理由」の主な内容

- 番号 4 自立度が分からないなど。
- 番号 6 要介護度、障害高齢者・認知症高齢者の日常生活自立度が分からない。
認定の内容について分からない。
見たことがないので分からない など。
- 番号 7 年金受給額、経済状況を知られたくないなど。
- 番号 8 スペースが狭く書き切れない（病気が多いため）など。
- 番号 9 ○×△だけではつけられない。
生活歴、学歴が必要かと言われた。
病院で聞かれることとダブっている など。
- 番号 11 暮らしの様子の項目。こんなにたくさんは必要ないと思う。
内容が漠然としていて解りづらい。
自分についてよく考え分析してそれを言葉にするのが難しい。
家事・仕事のスタイル、もっとわかりやすい言葉にしてほしい など。
- 番号 12 ターミナルの意味が分からない。
私のターミナルや死後について書きづらい。
はっきり自分の気持ちが決まっていない。
ターミナルや死後について聞きづらい など。
- 番号 13 毎日の生活リズムはそれほど変わらないので、細かく毎日書く必要ない。
細かすぎて記入しきれない。

質問 4 私の暮らしの手帳を、実際に病院や介護事業者などに提示しましたか。

(単位：人)

	提示した	提示していない	無回答	計
南アルプス市	15(10.2)	122(82.4)	11(7.4)	148
大月市	16(14.3)	94(83.9)	2(1.8)	112
計	31(11.9)	216(83.1)	13(5.0)	260

「提示した相手方」の主な内容

- ・ケアマネジャー、看護師、友人、ヘルパー など。

「提示した相手方の反応や、手帳を通じた情報提示についての意見」を記載した主な内容

- ・先生も病院に入るときは、特に意思がわかっていると良いとお話もありました。
- ・本人が望んでいる生活についてケアマネジャーと話し合えた。
- ・了解してくれたが、活用の方法がわからず、関心を示してもらえていなかった。
- ・実践モデル事業の利用者として頼まれた私は専業主婦でもあったので、時間の空いた時にじっくり記入させていただきましたが、仕事をもたれ介護もなさっての方には、このシートを完成させるには少し大変なことかもしれませんが、私はこのシートを渡され、一目瞭然に本人のことがわかるシートでもあり、万一病院にかかること（入院）があった時にはこのシートをすぐに一緒に持参し、活用出来るんじゃないかと思っています。 など

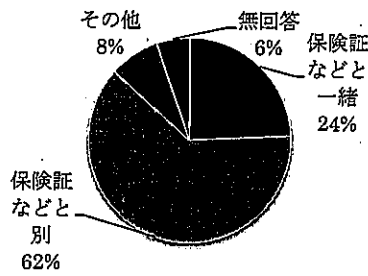
質問 5 私の暮らしの手帳の管理について、お伺いします。

①いつもどこに置いてありますか。

(単位：人)

	保険証など、大切なものと一緒に置く場所	保険証などは別たが、いつも身近で手の届く場所	その他	無回答	計
南アルプス市	24(16.2)	105(71.0)	11(7.4)	8(5.4)	148
大月市	39(34.8)	57(50.9)	10(8.9)	6(5.4)	112
計	63(24.2)	162(62.9)	21(8.1)	14(5.4)	260

※その他・・・娘宅に保管、ケアマネが保管、かばんの中、ベッドの下等



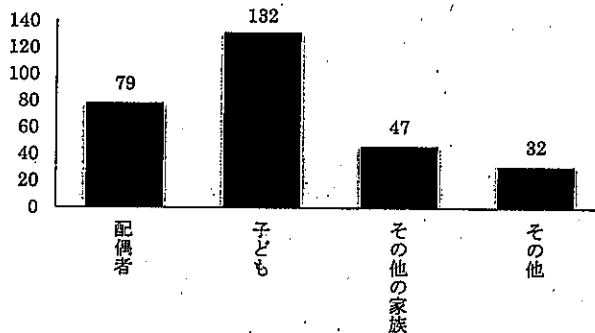
②置き場所を知っている人は誰ですか。(複数回答可)

(単位：人)

	配偶者	子ども	その他の家族	その他	計
南アルプス市	43(29.1)	78(52.7)	22(14.9)	24(16.2)	167
大月市	36(32.1)	54(48.2)	25(22.3)	8(7.1)	123
計	79(30.4)	132(50.8)	47(18.1)	32(12.3)	290

※その他・・・友人、ケアマネジャー、サービス事業者（訪問介護）、本人のみ等

※（ ）内の構成割合は回答者数（南アルプス市148人、大月市112人、計260人）に対するもの。



質問6 その他、このモデル事業に対する感想を記載した内容（主なもの）

- ・自分の生活を考えるきっかけになった。
- ・もし介護をしている家族が、本人の入院などに都合で立合えない場合は役に立つと思います。
- ・素晴らしい事業だと思って居ります。
- ・介護度の低い人でないと書く事も、聞く事もむずかしい。嫁としては、向き合って真剣に話しはしにくい。
- ・利用する機会がなかったが、いざと言う時には、そういう体制ができていれば安心だと思う。
- ・病院や介護に携わる人たちに本人の人の人柄や考え方を伝えるためにとても役立つと思う など。

質問7 あなたが医療や介護、生活支援に関して日頃から感じていることや望むことを教えていただいた

内容（主なもの）

- ・日ごろから家族と食事をしながらでも良いので、認知症等になる前に自分自身の終末期（どう生きたいか、したいか）話しておく必要があると思う。
- ・妻と一緒にできるだけ、頑張りたい。妻より先に死んでしまったら、と思うと心配でならない。
- ・現在、在宅介護を行っているが、これから終末を迎え、最後の時に自宅で良いのだろうか。どのように医療機関へつないでいったら良いのか不安がある。そこまでケアマネジャーに頼って良いのか、介護家庭が孤立してしまわないか不安もある。
- ・介護サービスを利用して意欲もできたし、楽しみもできた。ずっと元気でいたいと思う。
- ・医療や介護の利用がしやすくなった など。

【対象者（御本人）の属性】

①性別

(単位：人)

	男	女	無回答	計
南アルプス市	42(32.1)	89(68.0)	17(13.0)	148
大月市	30(26.8)	67(59.8)	15(13.4)	112
計	72(27.7)	156(60.0)	32(12.3)	260

②年齢

(単位：人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	計
南アルプス市	2(1.4)	9(6.1)	16(10.8)	39(26.3)	66(44.6)	16(10.8)	148
大月市	6(5.4)	9(8.0)	15(13.4)	29(25.9)	45(40.2)	8(7.1)	112
計	8(3.1)	18(6.9)	31(11.9)	68(26.2)	111(42.7)	24(9.2)	260

③世帯状況

(単位：人)

	夫婦2人暮らし	子ども等と同居	ひとり暮らし	無回答	計
南アルプス市	25(16.9)	70(47.3)	32(21.6)	21(14.2)	148
大月市	16(14.3)	70(62.5)	14(12.5)	12(10.7)	112
計	41(15.8)	140(53.8)	46(17.7)	33(12.7)	260

④要介護度

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	計
南アルプス市	7(4.7)	34(23.0)	26(17.6)	20(13.5)	14(9.5)	19(12.8)	9(6.1)	19(12.8)	148
大月市	8(7.1)	25(22.3)	21(18.8)	21(18.8)	14(12.5)	5(4.5)	8(7.1)	10(8.9)	112
計	15(5.8)	59(22.7)	47(18.1)	41(15.8)	28(10.8)	24(9.2)	17(6.5)	29(11.1)	260

⑤障害高齢者の自立度

(単位：人)

	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	無回答	計
南アルプス市	10(6.8)	28(18.9)	25(16.9)	38(25.7)	7(4.7)	15(10.2)	3(2.0)	3(2.0)	19(12.8)	148
大月市	7(6.2)	13(11.6)	39(34.8)	14(12.5)	12(10.7)	6(5.4)	4(3.6)	4(3.6)	13(11.6)	112
計	17(6.5)	41(15.8)	64(24.6)	52(20.0)	19(7.3)	21(8.1)	7(2.7)	7(2.7)	32(12.3)	260

⑥認知症高齢者の自立度

(単位：人)

	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	無回答	計
南アルプス市	43(29.0)	14(9.5)	35(23.6)	14(9.5)	4(2.7)	6(4.0)	2(1.4)	30(20.3)	148
大月市	43(38.4)	11(9.8)	13(11.6)	16(14.3)	1(0.9)	1(0.9)	13(11.6)	14(12.5)	112
計	86(33.1)	25(9.6)	48(18.5)	30(11.5)	5(1.9)	7(2.7)	15(5.8)	44(16.9)	260

<回答：介護支援専門員>

質問1 モデル事業への参加呼びかけについて

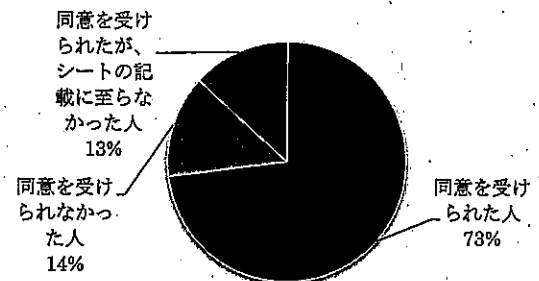
(1) 様式1の記載を本人に働きかけた時、どの程度の方から同意を受けられたか。

(単位：人)

	同意を受けられた人	同意を受けられなかった人	同意を受けられたが、シートの記載に至らなかった人	計
南アルプス市	160(63.8)	45(17.9)	46(18.3)	251
大月市	110(92.5)	6(5.0)	3(2.5)	119
計	270(73.0)	51(13.8)	49(13.2)	370

コメント (主なもの)

- ・お渡ししてすぐに入院、その後入所となってしまったため
- ・シート記入前に体調を崩したため
- ・家族が忙しくて援助してもらえなかった
- ・本人は記載できず、家族は多忙のため出来なかった
- ・入院が長期になり記載が難しかった
- ・記載内容が細かく時間的な余裕がない
- ・モデル事業期間中に本人逝去
- ・忙しい ・時間がとれない
- ・シートは必要ないと思う。病院へ受診したらその時に状況や気持ち考えを伝えれば良いと思う
- ・途中で特養入所が決定したため
- ・お渡ししてすぐに入院、その後入所となってしまったため
- ・本人の同意は得られたが息子や家族はあまり受け入れがよくなかった
- ・よく分からない。本人理解不能
- ・字がかけない。認知症で適切な回答が得られない
- ・ご家族様多忙なためなかなか難しい面がある
- ・同意を受けた直後に入院となったため
- ・シート依頼から死亡 など



(2) 様式の記載に対して理解を得るためにはどのような説明が必要だと思いますか。(主なもの)

- ・市や県からの公的なインフォメーション
- ・急変時にスムーズに医療機関で本人の想いに沿った治療を受けることができる
- ・医療と介護の連携のため。本人のことをよく知ってもらい適切な医療サービスを受けるために利用してほしい
- ・介護、医療、本人、家族との連携を図るために必要であることの説明が必要
- ・入院した時、入院前はこんな暮らし方をしていた。自分の思いを医療従事者に伝えていくことは大切と説明
- ・医療との連携がスムーズに出来る、自分の思いを伝える事が出来る など

質問2 様式1「私の暮らしのシート」について

(1) 利用する上で良い面 (主なもの)

- ・聞けなかったことを話す機会となった
- ・緊急時にあわてず対処できる
- ・ご本人の希望がつかめて家族本人とも喜んだ
- ・緊急時シートがあればよく分かる
- ・医療機関に係った際の情報収集が容易になる
- ・本人と家族が本人のことについて話し合うきっかけになる
- ・共通ツールがあるといろいろ説明しなくて済む。言い間違いがなくなる。
- ・本人や家族が想いを確認できる
- ・親族と話す機会になる
- ・ターミナルなど普段会話ででない内容を聞くことができた など

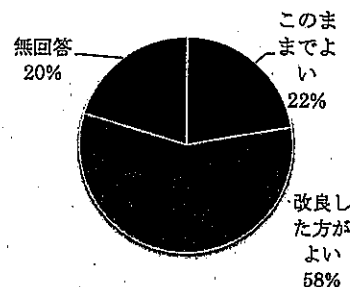
(2) 利用する上で難しい面 (主なもの)

- ・本人が認知症、家族との関係が悪い、独居であるとき、妥当な管理、聞き取りが難しい。
- ・現実に支援しないと書けない方が多い
- ・多くの方が支援がないと記入は難しい
- ・個人情報の流出
- ・親族にいけないことなどもありどこまで記入すべきか迷っていることの判断
- ・記載内容がタイムリーでない物もあり、難しい など

(3) 様式1について

(単位:人)

	このままでよい	改良した方がよい	無回答	計
南アルプス市	21(32.3)	29(44.6)	15(23.1)	65
大月市	3(7.0)	33(76.7)	7(16.3)	43
計	24(22.2)	62(57.4)	22(20.4)	108



「改良した方がよい」の内容 (複数回答)

(単位:人)

	項目が多すぎる	必要な項目が欠けている	その他	計
南アルプス市	15(51.7)	4(13.8)	9(31.0)	28
大月市	12(36.4)	1(3.0)		13
計	27(43.6)	5(8.1)	9(14.5)	41

※ () 内の構成割合は「改良した方がよい」と回答した者 (南アルプス市29人、大月市33人、計62人) に対するもの。

(3) —① 「不要の項目」の内容

- ・なじみのものや道具は何のこと?と言っていた。スタイルも何を書くのかわからないと言っていた。
- ・選択できる部分があるといいと思った
- ・本人の暮らし方、本人の気持ちのところは項目が多すぎる
- ・本人の暮らしの情報が多すぎる など

(3) —② 「追加した方がよい項目」の内容

- ・「本人の暮らしの情報」の中に、フォーマル・インフォーマルの感想や意向がわかれば、生活の充実度が分かる。
- ・自立度に自立がない。
- ・自立度に説明書き必要。
- ・「本人の暮らしの情報」の項目は自立、一部介助、全介助へ
- ・本人の意思表示が出来ないケースで家族の思いを伝えられない。
- ・現在の生活動作をもっと詳細に。杖、歩行器を使えば歩ける など

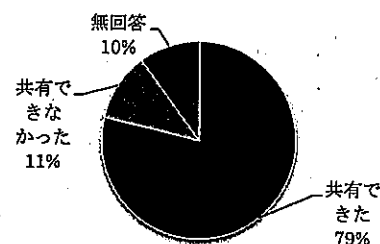
(3) —③ 「その他」の内容

- ・人の気持ちの確認欄は理解しにくい。自由記載が多く負担が大きい
- ・自分の気持ちを表せない方は書き表すことが難しい。またこのシートの必要性が感じられているかどうかもあると思います
- ・家事のスタイル、仕事のスタイルと言う項目が抽象的で何を書いたらいいかわからない
- ・書くことが多い。書き方も難しい。○をつけるなら書きやすい など

(4) 本人等が記載したシートの内容の共有ができましたか。

(単位：人)

	共有できた	共有できなかった	無回答	計
南アルプス市	55(84.6)	7(10.8)	3(4.6)	65
大月市	30(69.8)	5(11.6)	8(18.6)	43
計	85(78.7)	12(11.1)	11(10.2)	108



本人のケアマネジメントに役立ったことがある場合は、具体的に記載してください。

- ・本人の気持の確認
- ・今後のサービスを考え直す機会になった
- ・聞き取りでは得られない意向の確認ができた
- ・今の想い、気持ちが分かりプランに反映させることができた
- ・本人の意向確認に確信をもち対応していける
- ・どんなサービスがあるかさえ分からず悩んでいる家族がいることが分かった
- ・一人暮らしの利用者は訪問介護や主治医等と情報共有しやすい など

共有できなかった理由

- ・本人が現状の生活を理解していない
- ・体調が思わしくないためそういう気持ちになれない。
- ・書面に残すことをいやがった
- ・家族のいないところで心情を話す内容と違うことが書いてあった短期間のため、理解が不十分 など

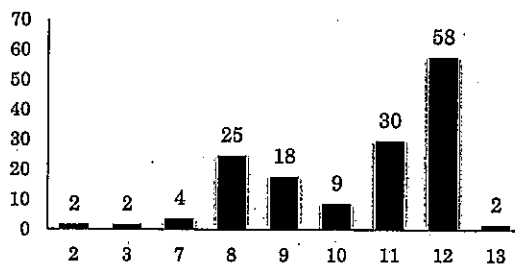
(5) 各項目の中で最も有効と思われる項目 (複数回答)

(単位：人)

項目番号	2	3	7	8	9	10	11	12	13	計
南アルプス市	1(1.5)	1(1.5)	3(4.6)	13(20.0)	8(12.3)	3(4.6)	21(32.3)	38(58.5)		88
大月市	1(2.3)	1(2.3)	1(2.3)	12(27.9)	10(23.3)	6(14.0)	9(20.9)	20(46.5)	2(4.7)	62
計	2(1.9)	2(1.9)	4(3.7)	25(23.2)	18(16.7)	9(8.3)	30(27.8)	58(53.7)	2(1.9)	150

※項目の内容・・・ 2「記入支援者」 3「名前」 7「経済状況」 8「本人の療養情報」 9「本人の暮らしの情報」
10「家族の情報」 11「本人の暮らし方(自分らしさ)の情報」 12「本人の気持ちの確認」
13「1日の過ごし方と暮らしを支えるサービス及び主な担当者」

※()内の構成割合は回答者数(南アルプス市65人、大月市43人、計108人)に対するもの。



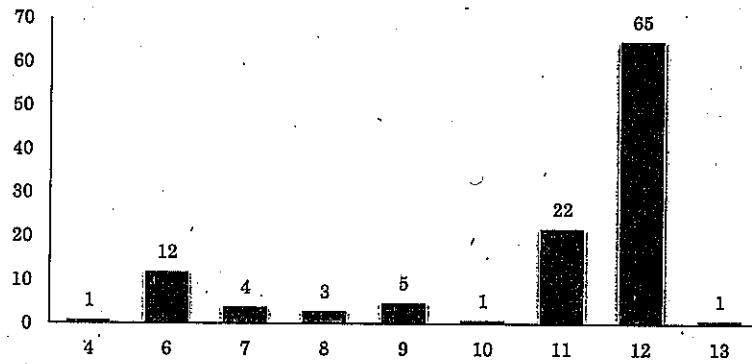
(6) 特に本人(家族)が書きにくかった箇所(複数回答)

(単位：人)

項目番号	4	6	7	8	9	10	11	12	13	計
南アルプス市	1(1.5)	10(15.4)	3(4.6)	3(4.6)	2(3.1)	1(1.5)	12(18.5)	39(60.0)		71
大月市		2(4.7)	1(2.3)		3(7.0)		10(23.3)	26(60.5)	1(2.3)	43
計	1(0.9)	12(11.1)	4(3.7)	3(2.8)	5(4.6)	1(0.9)	22(20.4)	65(60.2)	1(0.9)	114

※項目の内容・・・ 4「住所」 6「要介護認定」 7「経済状況」 8「本人の療養情報」 9「本人の暮らしの情報」
10「家族の情報」 11「本人の暮らし方(自分らしさ)の情報」 12「本人の気持ちの確認」
13「1日の過ごし方と暮らしを支えるサービス及び主な担当者」

※()内の構成割合は回答者数(南アルプス市65人、大月市43人、計108人)に対するもの。



(7) シート中の「(12) 本人の気持ちの確認」について記載例として適当と思われる例 (主なもの)

- ①私が感じている不安や苦痛、悲しみ
 - ・今患っている病気の事
 - ・家族に迷惑をかけたくない
 - ・一人暮らしでこれからどうなっていくか (身体的、金銭面等) 不安 など
- ②私が暮らしたい場所や暮らし方
 - ・住み慣れた我が家で家族と一緒に暮らしたい
 - ・自宅で最後まで暮らしたい
 - ・家で暮らしたいけど迷惑はかけたくない など
- ③私が続けたいことや、やりたいこと
 - ・畑で野菜を作りたい
 - ・毎日の食事作りや身のまわりのこと
 - ・趣味や楽しみことを続けたい など
- ④私が医療や介護、生活支援に望むこと
 - ・痛みや辛さを感じないようにしたい
 - ・通院支援をしてほしい
 - ・一人暮らしなので体が不自由になった時施設に入所を希望 など
- ⑤私のターミナルや死後についての願いや要望 (死を迎える時の場所等)
 - ・自分の家の畳の上で死にたい
 - ・延命処置は受けない
 - ・痛みなどがある場合は入院したいが延命治療はしたくない など

(8) 記入を支援した感想やシート全体の意見・要望

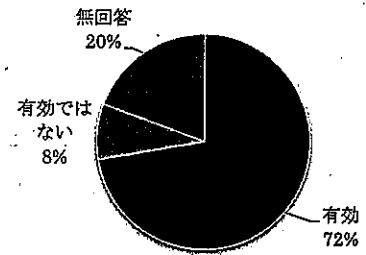
- ・今まで時間をかけて聞き取った内容が多く、重複作業となる。ファイルの管理が行えないケースがある
- ・質問が抽象的で答えづらい
- ・思っていることと違う答えが返ってきた。新たな発見ができた
- ・80代、90代の方対象ではなく対象の年齢を下げたほうが有効
- ・本人・家族共に記入が負担な様子
- ・最後をどんな形で迎えたいのか本人・家族の意向が抵抗なく聞くことができ良かった
- ・暮らしの様子が細かく、本人の意志が確認出来ないと記入出来ない所が多い
- ・被災時などに救急隊や医療機関が最も必要とする情報を1ページ目に集約し、2ページ目以降に「本人の生活や介護に関する情報」が加わるような感じにしてはどうか
- ・家族関係や理解度によって記入に対する思いが違う。本人が本心を記載できるか必ずしもそうではない可能性がある
- ・どの利用者や家族にシートの説明をしても「なぜこんな事をするのか」とその必要性について理解が得られなかった
- ・私の暮らしのシートが書ける人は普段から自分の考えを訴えられる方だと思う。書けない人はやはり考えもまとめられない人だと思う
- ・記入例があるほうがスムーズに引き出しやすい
- ・自分で記載できる人は少ないと思われる。家族の理解と協力が必要。「私の暮らしのシート」にケアマネ事業所とケアマネ氏名を記入した方が、病院に提示した場合病院側からの連携がとりやすいと思われるなど

質問3 私の暮らしの手帳について

(1) 手帳による関係者への情報提供の有効性について

(単位：人)

	有効	有効ではない	無回答	計
南アルプス市	51(78.5)	4(6.2)	10(15.4)	65
大月市	27(62.8)	5(11.6)	11(25.6)	43
計	78(72.2)	9(8.3)	21(19.5)	108



「有効である」理由（主なもの）

- ・本人の思いが確認できる
- ・情報収集が容易になり、連携もとりやすくなるのではないかと思います
- ・本人を理解しやすい
- ・みんなで共有できる
- ・本人の必要な情報がひと目で分かるため
- ・言いにくい部分も書くと言うことで書けることもある
- ・緊急時医療機関でその方の事が誰でもわかりやすい など

「有効ではない」理由（主なもの）

- ・自分の事業所で活用しているもので十分。連携がとれないのはツールのせいではないと思う。
- ・本人が意思表示出来ない場合全介助の場合は別の情報が必要ではないか。
- ・情報の中身が一部古いものになってしまう。
- ・医療関係者がこのシートを持ってくれるのか疑問。入院先でも Dr は見ていない状況。
- ・どこに置いたのかわからない。実際には入院時に持っていかない など

(2) モデル事業参加者はどのようにして管理していましたか。管理上で問題があった場合にはその問題点についても併せて記載して下さい。（主なもの）

- ・受診に行くときカバンに入らないので、部屋の隅に置いてある状態
- ・ファイルが大きすぎる。保険証などと一緒になっていた
- ・利用者に所有してもらい同じ場所に期間中置いておいてもらった。特に問題なし
- ・認知症高齢者二人暮らしの世帯であり、ファイル紛失と活用・管理が自己で行えない状況のため長女宅で保管していただいた
- ・家族が直ぐに出せる場所 など

質問4 様式2「連携シート」について

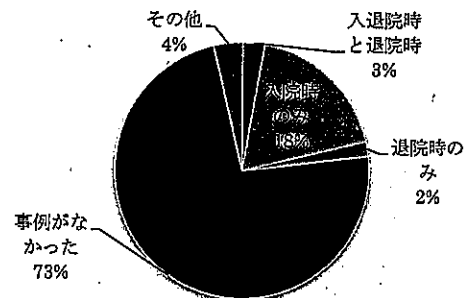
(1) この様式2を活用しましたか

(単位：人)

	入退院時と退院時	入院時のみ	退院時のみ	事例がなかった	その他	計
南アルプス市	2(3.1)	11(16.9)	2(3.1)	48(73.8)	2(3.1)	65
大月市	1(2.3)	9(20.9)		31(72.1)	2(4.7)	43
計	3(2.8)	20(18.5)	2(1.9)	79(73.1)	4(3.7)	108

(2) 利用する上で良い面（主なもの）

- ・端的で記載しやすい
- ・一目でその方の生活状況と状態が確認出来る
- ・入院時連携の書類としてファイルに残せる
- ・病院で知りたい情報が1枚で分かると思う
- ・本人の様子が分かる
- ・病院とやりとりがスムーズ など



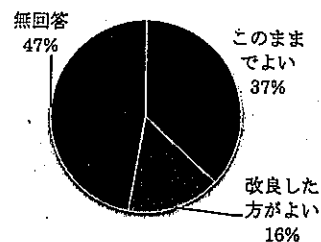
(3) 利用する上で難しい面 (主なもの)

- ・細かくて時間がかかる
- ・記入した内容を定期的に修正しておくが必要になる
- ・自宅に保管していても、いざというときに活用できるか不安
- ・Drは忙しく眼を通せない、細か過ぎる など

(4) 様式2について

(単位:人)

	このままでよい	改良した方がよい	無回答	計
南アルプス市	28(43.1)	9(13.8)	28(43.1)	65
大月市	12(27.9)	8(18.6)	23(53.5)	43
計	40(37.0)	17(15.8)	51(47.2)	108



「改良した方がよい」の内容 (複数回答)

(単位:人)

	項目が多すぎる	必要な項目が欠けている	その他	計
南アルプス市	4(44.4)	2(22.2)	1(11.1)	7
大月市	2(25.0)	1(12.5)		3
計	6(35.3)	3(17.7)	1(5.9)	10

※ () 内の構成割合は「改良した方がよい」(南アルプス市9人、大月市8人、計17人) に対するもの。

(4) —① 「不要の項目」の内容

- ・バイタルサインなど分かるか
- ・家族構成欄が狭い、同居やキーパーソンは誰など枠を大きくしたい
- ・56私の暮らしのシートとダブリ

(4) —② 「追加した方がよい項目」の内容 (主なもの)

- ・在宅生活上の門団。入院時に注意が必要事項、入院時に解決してもらいたい課題
- ・特記事項がある場合は「あるなし」を追加するとよい
- ・ケアマネがどうしたいか伝わらない。書面のあと電話で連絡するとか、伺うとか など

(4) —③ 「その他」の内容 (主なもの)

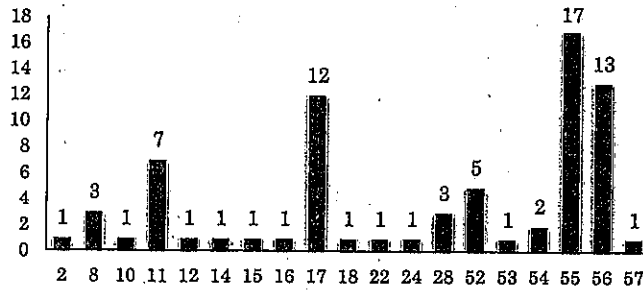
- ・対象者に改めて確認、振り返りができた。必要な情報だと思う。
- ・身体、生活機能の所はレ点になっているが、余白を作って具体的に書けると良い。
- ・○で囲む様式の方がわかりやすい など

(5) 各項目の中で最も有効と思われる項目 (複数回答)

(単位:人)

項目番号	2	8	10	11	12	14	15	16	17	18	22	24
南アルプス市		1(1.5)		6(9.2)	1(1.5)	1(1.5)	1(1.5)		7(10.8)	1(1.5)		
大月市	1(2.3)	2(4.7)	1(2.3)	1(2.3)				1(2.3)	5(11.63)		1(2.3)	1(2.3)
計	1(0.9)	3(2.8)	1(0.9)	7(6.5)	1(0.9)	1(0.9)	1(0.9)	1(0.9)	12(11.1)	1(0.9)	1(0.9)	1(0.9)

	28	52	53	54	55	56	57	計
	1(1.5)	5(7.7)	1(1.5)	2(3.1)	10(15.4)	6(9.2)	1(1.5)	44
	2(6.9)				7(16.3)	7(16.3)		29
	3(2.8)	5(4.6)	1(0.9)	2(1.9)	17(15.7)	13(12.0)	1(0.9)	73



※項目の内容・ 2「送付日」 8「要介護度」 10「認知症高齢者日常生活自立度」
 11「介護サービス利用状況」 12「同居家族」 14「主介護者」
 15「キーパーソン」 16「緊急連絡先」 17「かかりつけ情報等」
 18「記入日」 22「視力」 24「聴力」 28「認知症症状」
 52「本人のしていきたい・やりたい活動を支援するため、在宅で継続していきたいリハ活動」
 53「バイタルサイン」 54「具体的内容」 55「介護上、特に注意すべき点等」
 56「介護・看取りに関する本人・家族の意向等」 57「本シートの記入者」

※（ ）内の構成割合は回答者数（南アルプス市65人、大月市43人、計108人）に対するもの。

(6) 記入を支援した感想やシート全体の意見・要望（主なもの）

- ・事業所で作成している利用者様の基本情報と重複する内容なので両方を使用していくとなると負担が大きい
- ・シートが増えることは大変
- ・全てを記載することは、ケースバイケースであると思うが、利用者の状況を知る為にはこの程度の情報は必要だと思います
- ・見やすく理解しやすい
- ・県内全域で統一すると使い慣れる。すべての医療機関で承知してしてもらおう。
- ・認知度がIからであり他のものと同一の方がよい。自立をいれるべきだと思う
- ・慣れればよいと思いますが、病院の看護師が細かくて見づらい印象を受けたようです
- ・全体的に字が小さい、項目が多い
- ・連携シート2の必要性、ケアカンファで対応可能。様式3は、医療サービス導入時に役に立つので今後も活用したい
- ・本人にとっても、ケアマネにとっても今後、実際に適用されると良い
- ・すでにある退院・退所情報記録書よりさらに詳しく、必要される情報である

質問5 様式3「連絡シート」について

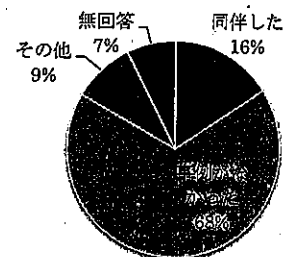
(1) 同伴を行いましたか

(単位：人)

	同伴した	事例がなかった	その他	無回答	計
南アルプス市	11(16.9)	44(67.7)	5(7.7)	5(7.7)	65
大月市	6(14.0)	29(67.4)	5(11.6)	3(7.0)	43
計	17(15.7)	73(67.6)	10(9.3)	8(7.4)	108

「同伴した」と回答した者のうち、連絡シートを利用した件数

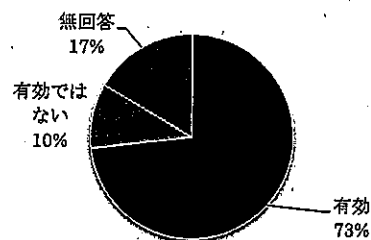
南アルプス市	22件
大月市	10件
計	32件



(2) 最初に同伴する仕組みの有効性

(単位：人)

	有効	有効ではない	無回答	計
南アルプス市	49(75.38)	4(6.15)	12(18.46)	65
大月市	30(69.8)	7(16.3)	6(13.9)	43
計	79(73.1)	11(10.2)	18(16.7)	108



「有効である」理由 (主なもの)

- ・顔の見える関係
- ・最初の同伴こそ連携しやすい
- ・情報を共有することは必要
- ・本人・家族から明確に聞けなかった情報も入手でき、関係主治医も協力的
- ・担当であることを分かってもらい必要
- ・顔が見える関係で信頼を構築しやすい
- ・早く顔を見せることでその後の連携が取り易くなる
- ・医師から情報をとりやすい、治療の方針を聞ける

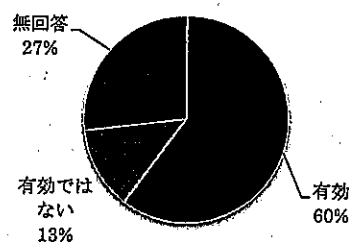
「有効ではない」理由 (主なもの)

- ・医療側の理解が必要
- ・最初に同伴しなければ、「顔の見える関係」が構築出来ないわけではない
- ・家族がいれば家族の判断となる
- ・同伴に割く時間がない
- ・連携室スタッフに依頼した方がスムーズ
- ・同伴しなくても顔の見える関係は作れる
- ・本人と家族が同伴を嫌がるひともいれば、同伴することでケアマネが、家族代わりになってしまう
- ・このほかに関係性の構築は出来る
- ・なぜ一緒に来たか理解できない医師がいる

(3) 連絡シートの活用の有効性

(単位：人)

	有効	有効ではない	無回答	計
南アルプス市	37(66.9)	9(13.9)	19(29.2)	65
大月市	28(65.1)	5(11.6)	10(23.3)	43
計	65(60.2)	14(13.0)	29(26.8)	108



「有効である」理由 (主なもの)

- ・内容の確認を後で、先生から情報を頂くときに有効
- ・記録として残す上では必要。同行した時はシートがなくても顔の見える関係には必要
- ・医師との情報交換有効
- ・主治医にケアマネがいることが分かり有効
- ・主治医と会うきっかけとなった など

「有効ではない」理由 (主なもの)

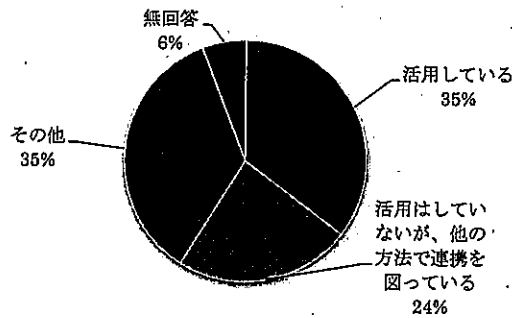
- ・医師に返信する時間がない。協力が得られない。
- ・既存の物の方が使い易い
- ・医療機関側に記載の負担を強いることになりかねない
- ・既存の方法でもほぼ同一の内容が記載されている
- ・病院側が忙しくて活用してもらえそうにない
- ・シートは医者によっては面倒がる
- ・シートの内容が少し難しいように思う

- ・同判時口頭で話をしている。必要に応じ電話依頼している。仕事での書類が多すぎ。主治医も記入は大変ではないか
- ・このほかに関係性の構築は出来る
- ・連携シートは先生方に浸透していない
- ・看護師の聞き取りと重複している
- ・ケアマネのことを理解していない。忙しく面倒。
- ・忙しい医師には、記入を依頼しにくい など

(4) 同伴した後の対応について ((1) で「同伴した」と回答いただいた方のみ)

(単位:人)

	活用している	活用はしていないが、他の方法で連携を図っている	その他	無回答	計
南アルプス市	2(18.1)	4(36.4)	4(36.4)	1(9.1)	11
大月市	4(66.7)		2(33.3)		6
計	6(35.3)	4(23.5)	6(35.3)	1(5.9)	17



「他の方法」の内容

- ・保険証診察券にデイのノートをはさむ。
- ・電話や往診日・時に合わせて話を聞く。
- ・シート記載はして持参したものの、回答や助言は口頭で行われたため、必要時のみ「受診時に同席する」形で医師との連携を図っている。
- ・ケアプランを持って行く。

「その他」の内容

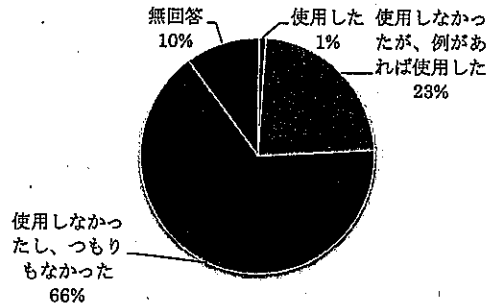
- ・用紙は活用しないが、電話で連携。
- ・書面での活用が必要な場合は活用するが、そうでない場合には同行の際には頭で確認している。
- ・現状に変化なく、特に連携の必要がない。必要事項は看護師に聞くことが多い。
- ・顔つなぎはできたがその後の連携はない。

質問 6 個人情報の保護の取り扱いについて

(1) FAX、Eメールを使用したか

(単位:人)

	使用した	使用しなかったが、例があれば使用した	使用しなかったし、つくりもなかった	無回答	計
南アルプス市	1(1.5)	10(15.4)	49(75.4)	5(7.7)	65
大月市		15(34.9)	22(51.2)	6(13.9)	43
計	1(0.9)	25(23.2)	71(65.7)	11(10.2)	108



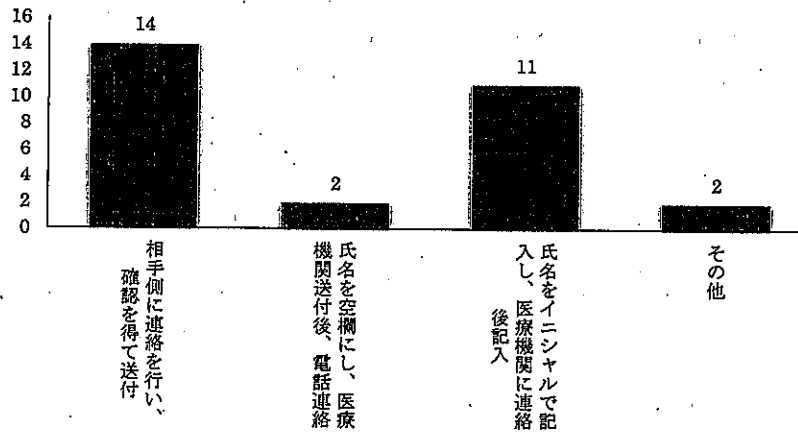
(2) 送付にあたりどのような注意を払ったか。(複数回答)

((1) で「使用した」又は「使用しなかったが、例があれば使用した」に回答した方) (単位:人)

	相手側に連絡を行い、確認を得て送付	氏名を空欄にし、医療機関送付後、電話連絡	氏名をイニシャルで記入し、医療機関に連絡後記入	その他	計
南アルプス市	7(63.6)		2(18.2)	2(18.2)	11
大月市	7(46.7)	2(13.3)	9(60.0)		18
計	14(53.9)	2(7.7)	11(42.3)	2(7.7)	29

※その他・・・直接持参した。直接FAXし、その後連絡した。

※()内の構成割合は回答者数(南アルプス市11人、大月市15人、計26人)に対するもの。



(3) 特に留意すべき点(主なもの)

- ・利用者、家族に送付の同意をとること。お互いのシートの取り扱いを慎重にすること。
- ・FAXは失礼にあたるのでは。必ず訪問するようにしている。
- ・同伴するのであれば、又は本人に面会時持参で良い。
- ・送信ミス、住所・氏名は相手方に記入をお願いする。
- ・医療機関の中でシートがどのくらいのスタッフに閲覧されるものなのか全く想像できない。
- ・認知の方で家族が同居していない人の管理。
- ・健康保険証と同じ管理が必要 など

(4) このシートやモデル事業全体について、御意見・御要望等（主なもの）

- ・今後実際に使えるようになるという
- ・家族は認知症なら家族がいるので必要ない、独居や高齢世帯には必要。プライバシーのこともあり、あまり見せたくない人もいる
- ・私の暮らしのシートは細かい。入院時など速やかに連携がとれ良かった。
- ・シートにより話し合うきっかけになった。ターミナルについては、なかなか触れる機会がないため、考えるきっかけになった。このようなシートがあることで、連携がスムーズにできると良い
- ・記入例があるとよい。介護者の高い方への聞き取りは大変
- ・医療機関はどのような情報が欲しいのか、再検討が必要か。一般の病院だけではなく、緩和病棟やホスピスなどからも必要では
- ・普段あんまり考えていないことを緊急時には役立つ、このような書式があれば役に立つ
- ・良いことだが、看護師の聞き取りと重複している、内容の検討を
- ・負担が大きかった。医療との連携がこのシートでできるか疑問に思う。本人の状況も変化する中で新しい情報を提供できるには。
- ・私の暮らしのシートは、ケアマネの負担が大きい。もっと本人、家族がわかりやすい簡単なもので
- ・大きなファイルは高齢者が運ぶのに大変。税金の無駄遣いにならないよう意見あり。医療機関側への周知を。
- ・本人の気持ちの本心かわからない
- ・最小限の個人情報をもっとシンプルな形式で、だれにでもわかりやすい物を作成していただければありがたい
- ・シートの作成に時間がかかるが、作成してからは情報の共有に有効活用出来る。
- ・在宅生活を支援するなかでは医療・福祉共に共通して支えていく必要がある。その中で、1冊のファイルで共有することができ医師との連携が図っていけることが援助者側も安心できると思います
- ・モデル事業については目的が分からない。シートは活用していきたいと思いますが、本人の意向と家族の意向も聞いているともっと良いと思います
- ・どのようにしたら記入の際の煩雑さを取り除くことができるか課題だと思う。記載をケアマネが代わって行っても限界がある など

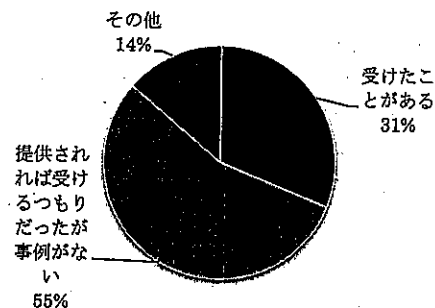
<回答：病院・有床診療所職員>

質問1 入院患者について、様式1「私の暮らしのシート」、様式2「連携シート」の提供を受けた事がありますか。

(単位：人)

	受けたことがある	提供されれば受けるつもりだったが事例がない	その他	計
南アルプス市	4(33.3)	7(58.4)	1(8.3)	12
大月市	2(40.0)	1(20.0)	2(40.0)	5
県中・リハ	3(25.0)	8(66.7)	1(8.3)	12
計	9(31.0)	16(55.2)	4(13.8)	29

※その他・・・眼科なのでほとんど関係ない、全く知らなかった等



「受けたことがある」と回答した者のうち、様式1・様式2の提供を受けた件数

南アルプス市	5件
大月市	2件
県中・リハ	7件
計	14件

質問2 様式1、様式2の提供を受けた際の対応（1で「受けたことがある」と回答いただいた方のみ）

(1) シートの受け取り窓口について

(単位：人)

	一本化している	病棟毎に受け取っている	その他	計
南アルプス市		3(75.0)	1(25.0)	4
大月市	2			2
県中・リハ	3			3
計	5(55.6)	3(33.3)	1(11.1)	9

※その他・・・病棟毎に受け取っているが、受け取った事は連携室で把握できるようにした。

(2) 提供された情報について

(単位：人)

	必要な情報については活用	特に活用しなかった	その他	計
南アルプス市	4			4
大月市	2			2
県中・リハ	3			3
計	9			9

質問3 様式1「私の暮らしのシート」について

(1) 利用する上での良い面（主なもの）

- ・今までの生活の様子や家族背景等詳しく知ることができる
- ・患者さんの精神的な面や思いが把握できる。
- ・基礎情報に加え、暮らしの様子がわかってよい。
- ・基本情報がわかる
- ・個人情報の把握がしやすい
- ・個人のくわしい情報が一目でわかるのは良いと思う など

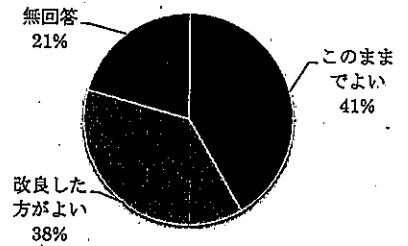
(2) 利用する上で難しい面（主なもの）

- ・記載項目が多く全ての項目を埋めるのに時間と手間がかかる
- ・正確な内容が記載されるかどうか心配
- ・誰がいつの段階で記入するのか不明確
- ・個人情報の取り扱い など

(3) 様式1について

(単位：人)

	そのままがよい	改良した方がよい	無回答	計
南アルプス市	5(41.7)	5(41.7)	2(16.6)	12
大月市	2(40.0)	3(60.0)		5
県中・リハ	5(41.7)	3(25.0)	4(33.3)	12
計	12(41.4)	11(37.9)	6(20.7)	29



「改良した方がよい」の内容 (複数回答)

(単位：人)

	項目が多すぎる	必要な項目が欠けている	その他	計
南アルプス市	2(40.0)	2(40.0)	2(40.0)	6
大月市		2(66.7)	1(33.3)	3
県中・リハ	3			3
計	5(45.5)	4(36.4)	3(27.3)	12

※ () 内の構成割合は「改良した方がよい」と回答した者 (南アルプス市5人、大月市3人、県中・リハ3人の計11人) に対するもの。

(3) -① 「不要の項目」の内容 (主なもの)

- ・生活歴で学歴は不要
- ・様式2と重複している情報もあって整理が必要 など

(3) -② 「追加した方がよい項目」の内容 (主なもの)

- ・具体的にできる行動がもう少しわしくわかった方がよい
- ・親族とのコミュニケーションを書いた方がよい
- ・歩行時に何も使わずに歩行が出来るのか、杖が必要なのか

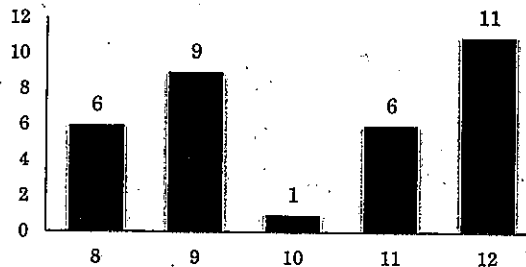
(3) -③その他

- ・キーパーソンの項目があった方がいい。生活動作は○×△だけでなく、こまかくどの程度活動できるのか、記入できた方がいいと思います
- ・スペースが狭い
- ・本人の療養情報の範囲はもう少し広くスペースをとった方がよいのでは、内服薬も最近多くの種類を服用している人がある

(4) 各項目の中で最も有効と思われる項目 (複数回答)

(単位：人)

項目番号	8	9	10	11	12	計
南アルプス市	5(41.7)	4(33.3)	1(8.3)	1(8.3)	2(16.7)	13
大月市	1(20.0)			3(60.0)	5(100.0)	9
県中・リハ		5(41.7)		2(16.7)	4(33.3)	11
計	6(20.7)	9(31.0)	1(3.5)	6(20.7)	11(37.9)	33



※項目の内容・ 8「本人の療養情報」 9「本人の暮らしの情報」 10「家族の情報」

11「本人の暮らし方(自分らしさ)の情報」 12「本人の気持ちの確認」

※ () 内の構成割合は回答者数 (南アルプス市12人、大月市5人、県中・リハ12人の計29人) に対するもの。

(5) このシート全体及び本人が手帳を持参する情報提供の方法等に関する主な意見・要望（主なもの）

- ・情報として受け取るが、個人情報なので扱いが心配である。
- ・お薬手帳も必須で持参できるシステム
- ・このシートを活用するには多大なケアマネさんへの負担と利用者・本人・家族の理解が必要だと思われます。ただ病気や加齢により本人の意思確認が出来ない場合、家族の悩みや負担は大きい元気なうちに会話を持つことは大変重要なことだと思います。
- ・項目(12)のターミナルや死後についての要望の部分が殆ど記入されていない。非常にむずかしい質問であったり、聞きづらい部分であり、記入するケアマネジャーと本人の親密度問題もあり、今後の課題となる項目と思われる など

質問4 様式2「連携シート」について

(1) 利用する上での良い面

- ・本人の情報が得られやすく良いと思います
- ・必要事項の明記がなっている
- ・お互いに情報を得ることができる
- ・ADLがわかりやすく記載
- ・その人の日常生活スタイルがわかる
- ・ADLの状態がわかること

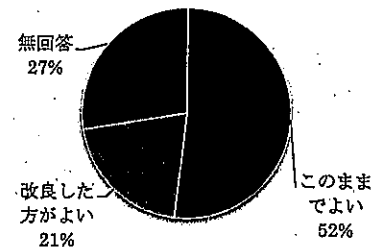
(2) 利用する上で難しい面

- ・情報が最新でない場合があります。何十人と利用者を抱えるケアマネジャーには記入の負担が大きいことが心配されます。
- ・退院時や経過の状況を伝えることが多いが、入院時の様子を細かく伝えることは少ない
- ・いつ記入したものか解らない

(3) 様式2について

(単位：人)

	このままでよい	改良した方がよい	無回答	計
南アルプス市	9(75.0)		3(25.0)	12
大月市	1(20.0)	4(80.0)		5
県中・リハ	5(41.7)	2(16.6)	5(41.7)	12
計	15(51.7)	6(20.7)	8(27.6)	29



「改良した方がよい」の内容（複数回答）

(単位：人)

	項目が多すぎる	必要な項目が欠けている	その他	計
南アルプス市				0
大月市		1(25.0)	1(25.0)	2
県中・リハ	1(50.0)		2(100.0)	3
計	1(16.7)	1(16.7)	3(50.0)	5

※（ ）内の構成割合は「改良した方がよい」（大月市4人、県中・リハ2人、計6人）に対するもの。

(3) -① 「不要の項目」の内容（主なもの）

- ・記入時の身体・生活機能等、チェック項目が多いと思います など

(3) -② 「追加した方がよい項目」の内容（主なもの）

- ・いくつもの診療機関にかかっている利用者が多いため薬剤情報の添付があると助かります。
- ・嚥下状況、介護者の身体状況

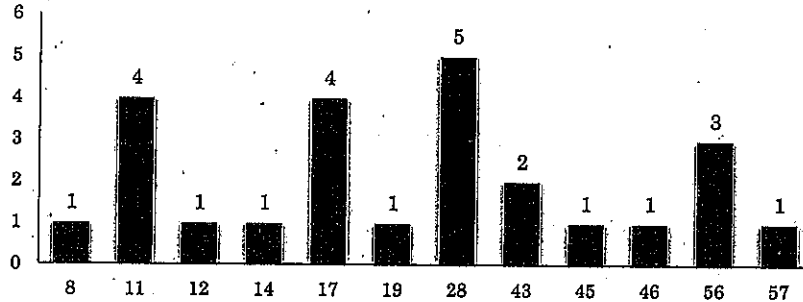
(3) -③ その他（主なもの）

- ・介護サービスの利用状況で、どのようなサービスを受けているのか、記入出来るスペースがあると思う。
- ・入浴、トイレなど手すりの状況などが追加した方がよい（1F、2Fでの生活の場所、ベッドが布団かなど） など

(4) 各項目の中で最も有効と思われる項目 (複数回答)

(単位:人)

項目番号	8	11	12	14	17	19	28	43	45	46	56	57	計
南アルプス市			1(8.3)		2(16.7)	1(8.3)	4(33.3)				2(16.7)		10
大月市		2(40.0)			1(20.0)			1(20.0)		1(20.0)			5
県中・リハ	1(8.3)	2(16.7)		1(8.3)	1(8.3)		1(8.3)	1(8.3)	1(8.3)		1(8.3)	1(8.3)	10
計	1(3.5)	4(13.8)	1(3.5)	1(3.5)	4(13.8)	1(3.5)	5(17.2)	2(6.9)	1(3.5)	1(3.5)	3(10.3)	1(3.5)	25



※項目の内容・・・ 8「要介護度」 11「介護サービス利用状況」 12「同居家族」
 14「主介護者」 17「かかりつけ情報等」 19「麻痺の状況」
 28「認知症症状」 43「住環境」 45「排泄能力」
 46「排便介助」 56「介護・看取りに関する本人・家族の意向等」
 57「本シートの記入者」

※ () 内の構成割合は回答者数 (南アルプス市12人、大月市5人、
 県中・リハ12人、計29人) に対するもの。

(5) このシート全体及び本人が手帳を持参する情報提供の方法等に関する意見・要望

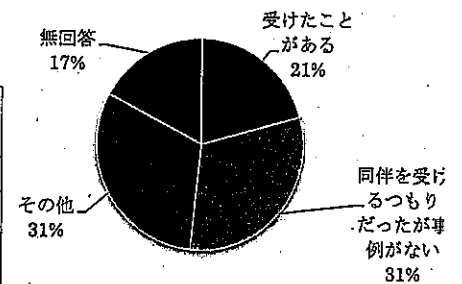
- ・様式1と2を合わせるとかなり膨大な情報になります。ケアマネの負担はないのでしょうか。ケアマネが現在ケアプラン立案に利用している情報を持っている人もいます。
- ・医療を必要とする際の状況と以前の情報の違いは、特に高齢者の場合、難しいことが多いが、臨機応変に判断し有意義に活用していきたい。介護保険更新時のみならずケアマネさんには最新の情報の記載をお願い申し上げたい
- ・この内容でA4サイズでは文字が小さく読みにくさあり
- ・今回1件しかシートを見ていないので、まだまだ改善点や良さを理解しきれていないと考える。今後シートを見る回数を重ねていくことで意見を出していきたい
- ・全体的に細かく見づらい。①裏面は使用できないのか。②暮らしのシートとダブっている部分は不要かと思う部分もあるが、患者様が入院したと同時に届かないのである部分はそのままでもとも思う。未記入の部分が多いケアマネさんもある。可能な限り記入願いたい
- ・使用目的を明確にすること。医師側からすると、文書料が発生すると考える方もいる、その辺りを統一して周知することが重要。

質問5 様式3「連絡シート」について

(1) 同伴を受けた事があるか。

(単位:人)

	受けたことがある	同伴を受けるつもりだったが事例がない	その他	無回答	計
南アルプス市	3(25.1)	4(33.3)	4(33.3)	1(8.3)	12
大月市	2(40.0)	1(20.0)	2(40.0)		5
県中・リハ	1(8.4)	4(33.3)	3(25.0)	4(33.3)	12
計	6(20.7)	9(31.0)	9(31.0)	5(17.3)	29



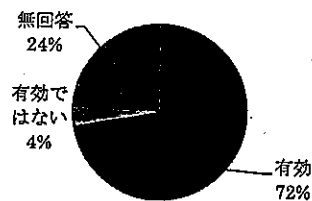
※その他・・・受けたことがない等。

※ () 内の構成割合は回答者数 (南アルプス市12人、大月市5人、県中・リハ12人、計29人) に対するもの。

(2) 「顔の見える関係」構築のため、同伴する仕組みは有効だと思うか。

(単位：人)

	有効	有効ではない	無回答	計
南アルプス市	11(91.7)		1(8.3)	12
大月市	5			5
県中・リハ	5(41.7)	1(8.3)	6(50.0)	12
計	21(72.4)	1(3.5)	7(24.1)	29



※ () 内の構成割合は回答者数 (南アルプス市12人、大月市5人、県中・リハ12人、計29人) に対するもの。

「有効である」理由 (主なもの)

- ・コミュニケーションがとりやすい、本人でうまく伝わらない事があつたらフォローしてほしい
- ・口頭で確認することにより、今後の対策の相談がしやすくなる
- ・聞きたいことが聞けるので対策が立てやすい
- ・利用者の現状把握および今後に向けてスピーディに動くことが出来る

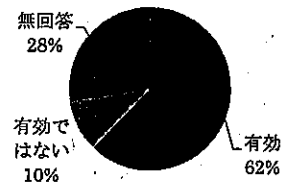
「有効ではない」理由

- ・状況による、必ずになると、同伴による医師の負担は大きいと思う

(3) 連絡シートの活用は有効だと思うか。

(単位：人)

	有効	有効ではない	無回答	計
南アルプス市	11(91.7)		1(8.3)	12
大月市	5			5
県中・リハ	2(16.7)	3(25.0)	7(58.3)	12
計	18(62.1)	3(10.3)	8(27.6)	29



※ () 内の構成割合は回答者数 (南アルプス市12人、大月市5人、県中・リハ12人、計29人) に対するもの。

「有効である」理由 (主なもの)

- ・介護サービスや本人に関して、理解の乏しい家族が多いことから情報提供は有り難い
- ・日常生活状況等知ることができるのでよいと思います。
- ・情報が入りやすい など

「有効ではない」理由 (主なもの)

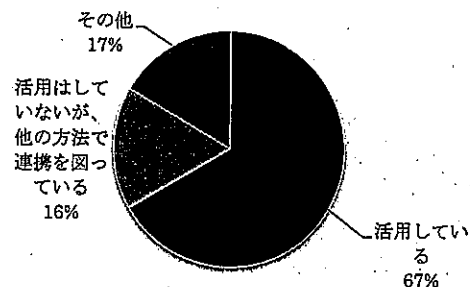
- ・利用者の照会、相談内容等を具体的に書いていただけるとありがたいです。相談内容がわかりずらかったです。すべての患者さんについて、医師の意見を聞くとなると労力が必要と思います。
- ・医師から介護保険の導入を提案するケースもある。ケアマネよりも医師の方が情報を持っている。ケースを考える状況に応じ有効なこともある など。

(4) ケアマネジャーの同伴を受けた後の対応について

((1) で「受けたことがある」と回答いただいた方のみ)

(単位：人)

	活用している	活用はしていないが、他の方法で連携を図っている	その他	計
南アルプス市	2(66.7)		1(33.3)	3
大月市	1(50.0)	1(50.0)		2
県中・リハ	1			1
計	4(66.6)	1(16.7)	1(16.7)	6



※ () 内の構成割合は回答者数 (南アルプス市3人、大月市2人、県中・リハ1人、計6人) に対するもの。

「他の方法」の内容

- ・個別にシート（以前のもの）やtelで行っている

「その他」の内容

- ・3例はシート活用した。1例はケアマネ同伴でシートがなくても相談内容がよくわかった
- ・医師の指示のもとご足労願うとすぐに対応してくださるケアマネさんが多い中、声かけしても連絡もない事業所も見受けられた
- ・暮らしのシートは好評でした。今回少ない件数でしたので十分な資料にならなかったかもしれません。様式1～3について他のケアマネが充分周知がされていなかった部分があった。今後、使い方、使用方法についての書式があると良いと思った。
- ・その時のみ、その後は継続なし

(5) このシートやモデル事業全体について、御意見・御要望等

- ・この事業以前より、患者さんの対応時にケアマネさんの協力は必要不可欠であるとの上司の考えのもと、多くの事業所さんと積極的に連絡をとっています。このシートや事業を通じて、さらに密なる関係を構築し、利用者・家族にとってよい方法を考えていきたいと思っております
- ・提出が2件と少なかったので、モデル機関が半年間くらいあっても良かったように思います
- ・誰が、どの項目を記入したらよいのか、わかりやすくしていただけるともっとよいと思いました
- ・シートがいくつもあり、解りづらい気がします。一つにまとめて必要な項目を絞った方がよいと思いました
- ・中北保健所では「想いのマップ」を作成したが、同じようなものが数多くあり混乱する
- ・様式3について、受診時同伴してもらうのが一番よいかと思いますが、無理な場合は相談の内容を具体的に「教えてもらえば連携センターで相談にのらせていただきます。
- ・市町村単位で先行して取り組んでいる事業がある。市町村単位である故に広域的な活用に至っていないものもあるため、先行していることでの積み上げも取り入れつつ、県として行うことでの広域性もある取り組みにしていてもらいたい
- ・連携のため、シートの活用は役立つと思うが特に書式におこしてまでする必要あるのかわからない
- ・ケアマネも利用目的がはっきり解らない方もいた。相談内容が明確ならシートの利用にこだわらなくてもよいのではないのでしょうか
- ・＜主治医確認欄＞で具体的日程を示すのはなかなか難しいと思います。（この場合、PSWの活用をしていただいた方がよいかと思えます
- ・主治医、外来忙しいときは対応が難しい、ケアマネ持参時すべてに対応可能かはそのときの状況による。主治医により全く受け入れない医師もいる

<回答：診療所（病院・有床診療所を除く）・歯科医院>

質問1 様式3「連絡」シートについて

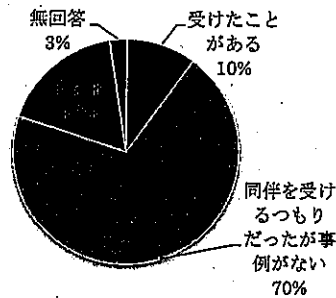
(1) 受診時にケアマネジャーの同伴を受けたか。

(単位：人)

	受けたことがある	同伴を受けるつもりだったが事例がない	その他	無回答	計
南アルプス市	3(13.64)	12(54.5)	6(27.3)	1(4.6)	22
大月市	1(5.6)	16(88.8)	1(5.6)		18
計	4(10.0)	28(70.0)	7(17.5)	1(2.5)	40

※その他・・・眼科なのでほとんど関係ない、全く知らなかった等

※（ ）内の構成割合は回答者数（南アルプス市22人、大月市18人、計40人）に対するもの。



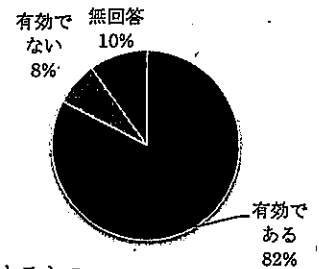
「受けたことがある」と回答した者のうち受けた件数

南アルプス市	4件
大月市	1件
計	5件

(2) 「顔の見える関係」構築のため、同伴する仕組みは有効だと思うか。

(単位：人)

	有効である	有効でない	無回答	計
南アルプス市	18(81.8)	2(9.1)	2(9.1)	22
大月市	15(83.3)	1(5.6)	2(11.1)	18
計	33(82.5)	3(7.5)	4(10.0)	40



※（ ）内の構成割合は回答者数（南アルプス市22人、大月市18人、計40人）に対するもの。

「有効である」理由（主なもの）

- ・ケアマネジャーと直接話す機会がほとんどないのが実情で、最初に同伴で受診してくれるとその後もスムーズにいくと思われる
- ・医師が必要と考える介護内容と患者が希望する介護内容を調節しやすいため
- ・状況の正確性が高まる
- ・親しみやすくなり、気兼ねなく情報交換ができる など

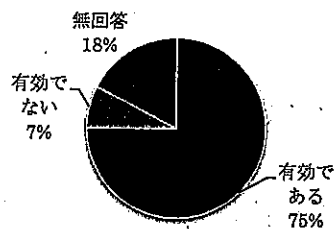
「有効でない」理由

- ・「顔の見える関係」の意味が不明
- ・外来患者が多い場合、対応ができない。必要時で良いと思います

(3) 連絡シートの活用は有効だと思うか。

(単位：人)

	有効である	有効でない	無回答	計
南アルプス市	16(72.73)	2(9.09)	4(18.18)	22
大月市	14(77.8)	1(5.5)	3(16.7)	18
計	30(75.0)	3(7.5)	7(17.5)	40



※ () 内の構成割合は回答者数 (南アルプス市22人、大月市18人、計40人) に対するもの。

「有効である」理由 (主なもの)

- ・医師の意見が必要な場合、その意見・指示が介護に反映されるなら有効である
- ・介護の実態がわかる
- ・事実を明確化するため
- ・両者の連絡がスムーズにできると思われる
- ・ケアマネジャーとの連携が非常に大切と思われる。第一歩として非常に連絡シートの活用は有効

「有効でない」理由

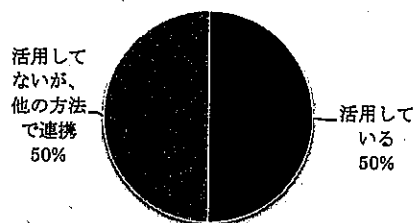
- ・基本は家族が責任と努力を払うべき
- ・連絡シート自体にはさほど意味はないと思います。直接会うきっかけを作るためならもっとシンプルなものでよい

質問2 「連絡」シートの活用について

(質問1 (1) 「受けたことがある」と回答いただいた方のみ)

(単位：人)

	活用している	活用していないが、他の方法で連携	その他	計
南アルプス市	1(33.3)	2(66.7)		3
大月市	1			1
計	2(50.0)	2(50.0)		4



※他の方法・・・歯科医院独自の書類を作って連携している。

※ () 内の構成割合は回答者数 (南アルプス市3人、大月市1人、計4人) に対するもの。

質問3 このシートやモデル事業全体について、御意見・御要望等 (主なもの)

- ・介護と医療の連携がスムーズに行う事が出来るようになる
- ・様式のことで、連絡シートの主治医からの回答・助言の欄をもっと大きくしてもよいではないでしょうか
- ・期間が短かった。実際に連絡シート活用を早い内に使用するようお願いします
- ・ご苦労様です。モデル事業→本事業に発展
- ・把握していない部分が多いため、これから改善すべき点を考慮して前進すべきと思います。
- ・メールの方が簡単 (便利) なのでメール用の連絡シートを作ってほしい
- ・行政が動けば動くほど、家族 (子供) が親の面倒を看なくなります。介護は子供が行うもの、どうしても無理な場合のみ行政が行う。やり過ぎは親子のバランスを崩す
- ・往診先で時間を合わせてケアマネと会うことになっていたのだが、結局ケアマネが来なくて会えなかった等の事例あり。医療側としては外来でも往診先でもよいので、まずは患者さんと同時にケアマネとも話しをしたいと思います。
- ・継続が大事
- ・高齢者にファイルが記載できるのか疑問。出来たとしても外来診療の場でファイルを読み、確認するに手間がかかる
- ・このようなとりくみが将来的に患者と医者との信頼関係にまで発展していけるようになってほしいと思います
- ・事例が全くないのでよくわかりません。大月市がモデル事業に該当していること自体把握できませんでした
- ・医療と介護の実態が理解し合える など